

証券コード 3436

SUMCO 株主通信

第22期 期末

2020.1.1 > 2020.12.31



INDEX

- 01 ごあいさつ 連結業績ハイライト
- 03 特集:車載半導体向けウェーハの成長
- 05 市場環境と業績見通し
- 06 会社情報・株式情報・株主メモ



株主の皆様には、日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度の半導体用シリコンウェーハ市場は、米中貿易摩擦 やコロナ禍による世界経済の減速にも拘わらず成長しました。

300mmウェーハはテレワーク・5Gの浸透による通信容量の増大に より強い需要となりました。ロジック向けはPC・スマートフォン・デー タセンター向けの需要拡大に牽引され、需給のタイト感が継続し、メモ リー向けも回復傾向となりました。200mm以下の小口径ウェーハは、 コロナ禍の影響により車載・民生向け需要が低迷していましたが、年末 から急回復しました。

2021年度の半導体用300mmシリコンウェーハ市場は、引き続き5G・ スマートフォン・データセンターに牽引され、ロジック向けは需給のタイ ト感が更に強くなると予想しております。また、200mmウェーハについて も車載・民生向け需要が急回復し、旺盛な需要が続くと見込んでおります。

このような市場環境のもと、当社グループでは、引き続き需要増が見 込まれる最先端品の技術開発の推進による製品の差別化を図るととも に、その需要に合わせた継続的な設備増強を進めることにより、顧客要 求に応えていく所存です。また、コロナ禍や米中貿易摩擦等の影響が懸 念されるなか、市場環境の動きを慎重に注視してまいります。

2020年12月期の期末配当につきましては、当期における利益水準、 将来の見通し、設備投資に係る資金需要および内部留保の状況等を総合 的に勘案し、1株当たり9円、通期では27円、連結配当性向は30.9%と決 定いたしました。また約10%相当の自己株式の取得を実施することによ り、総環元性向を40.7%とすることとしましたのでご報告します。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上 げます。

代表取締役 会長兼CEO

株主の皆様には、平素より当社へのご理解とご支援をいただき厚く 御礼申し上げます。

2020年は、世界的なコロナ禍の影響による景気後退や、地政学リス クが継続した中、上半期に半導体業界の需給調整局面はあったものの、 年間では半導体用シリコンウェーハ需要は、300mmウェーハを中心に 成長いたしました。最先端ロジック向けは、5Gを中心に需要は拡大し、 また、メモリー向け需要も、緩やかではありますが回復しました。

今期の当社業績は、300mm最先端高精度製品のプロセス立ち上げ に際してのコスト増に加え、高精度ウェーハ増産投資による減価償却 費の増加もあり、前年対比では減収、減益でありますが、営業利益378 億円、親会社株主に帰属する当期純利益255億円を計上し、営業利益率 は13.0%の水準となりました。

一方、財務体質は強化することができ、自己資本比率は前年期末より 0.9%改善し53.1%、D/E比率も0.02改善し0.48となりました。中期 的目標として掲げた50%以上の自己資本比率とD/E比率0.5以下を既に 達成しておりますが、今後も着実に財務体質改善を進めてまいります。

今後も、増加が見込まれる最先端ウェーハの技術開発を推し進め、来 る需要期に備え300mm最先端高精度ウェーハの生産体制を着実に整 備してまいります。また、生産性向上、原単位改善等のコストダウンを 推進し、収益の改善に努めてまいります。

株主の皆様には、今後も引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げ ます。

代表取締役 副会長CFO



連結業績 ハイライト

(注)日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。







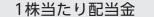
営業利益





親会社株主に帰属する当期純利益







3 従業員が活き活きとした利益マインドの高い会社

4 海外市場に強い会社

S MCO VISION

- 1 技術で世界一の会社
- 2 景気下降局面でも赤字にならない会社

中間 期末 (円/株)



舞車 載半導体向けウェーハの成長



脱炭素化社会への動きが急速に高まる

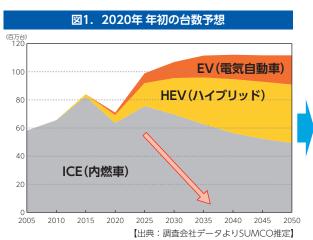
- ・地球温暖化防止に向けた、脱炭素化社会の実現 は、世界共通課題であり、SDGs(*)のターゲット でもあります。
- ・具体的な対策として、主要国は二酸化炭素 (CO₂)を排出する、内燃車の新車販売禁止目標 を発表しています。(表1)

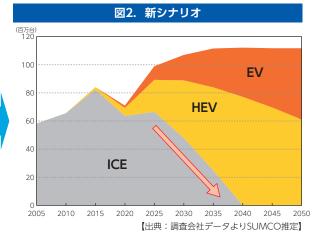
中国	2035年をめどに新車販売をHEVやEVのみに
米国	カリフォルニア州が2035年までに販売禁止
日本	2030年代半ばに販売ゼロの方針
ドイツ	2030年までの新車販売禁止を目指す
フランス	2040年までに販売禁止
英国	2030年に販売禁止

(*) SDGsとは国連で採択された、2030年までに実現すべき17のゴール

HEV・EVの販売台数シナリオ

- ・2020年のHEV・EVの世界自動車販売台数に占める割合は約1割ですが、今後、急速にHEV・EV化が進展。
- ・2040年には、主要国の目標が達成されれば、内燃車のほとんどは切り替わるものと想定。(図2)





ADAS (先端運転支援システム) の進展

- ・運転支援システムによる、安心・安全なクルマ は増々普及します。(図3)
- ・クルマは「走る半導体」とも言われていますが、 ADASの進展で半導体の搭載量は、更に増加し ます。

1台当たりのシリコンウェーハ使用面積は、 現在の2倍を超える

- ・HEV・EVでは多くのパワー半導体が搭載され、 シリコンウェーハ使用面積は2倍を超えます。 (図4)
- ・更にADASが追加されることで高機能化が進み、 自動運転に向け、市場の成長が予想されます。

車載向けシリコンウェーハは成長

- ・HEV・EVの販売台数増加とADASの普及によ り、シリコンウェーハ需要は、年10%レベルの 成長を予想しています。(図5)
- ・SUMCOは、高い信頼性と耐久性が要求される 車載向けで、お客様から高い評価をいただいて おり、今後もクルマ社会の進化と成長に貢献し ます。

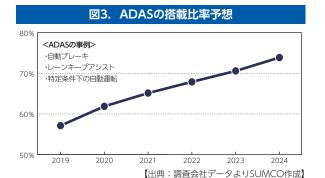


図4. 1台当たりのシリコンウェーハ使用面積

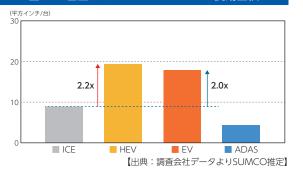
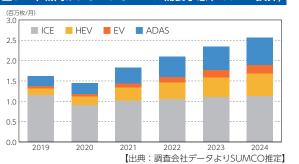


図5. 車載向けシリコンウェーハ需要予想(200mm換算)



SUMCO CORPORATION SUMCO CORPORATION 4



❤ 会社情報

株主メモ



毎年12月31日

2020年度 (1-12月) 市場環境 2020年度の半導体用300mmシリコンウェーハ市場は、米中貿易摩擦やコロナ禍による世界経済の減速にも拘わらず成長しました。ロジック向けはPC・スマートフォン・データセンター向けの需要拡大に牽引され、需給のタイト感が継続し、メモリー向けも回復傾向となりました。また、200mm以下の小口径ウェーハは、コロナ禍の影響により車載・民生向け需要が低迷していましたが、年末から急回復しました。

2020年度 (1-12月) 事業成績 上記ような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により、顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、コスト改善により損益の改善にも努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高2,913億円、営業利益378億円、経常利益356億円、親会社株主に帰属する当期純利益は255億円となりました。

今後の見通し 2021年度 1-3月期 2021年度第1四半期連結会計期間における半導体用300mmシリコンウェーハ市場は、5G・スマートフォン・データセンターに牽引され、ロジック向けは需給のタイト感が更に強くなると予想しております。また、200mmウェーハについても車載・民生向け需要が急回復し、旺盛な需要が続くと見込んでおります。

このような市場環境のもと、2021年度1-3月累計の業績見通しについては、為替レートを104.0円/ドルとし、下表1.の通り予想しています。

図表1.営業利益増減分析(2019年度→2020年度)

			(単位:億円)
	2019年度	2020年度	増減
売上高	2,994	2,913	▲ 81
営業利益	506	378	▲ 128
為替(円/US\$)	109.4	106.9	▲2.5



表1.2021年度1Q(1-3月期)連結業績予想

項目		2020年度4Q 実績(10-12月)	2021年度1Q 予想(1-3月)	増減
売上高	(億円)	726	760	+34
営業利益	(億円)	81	85	+4
経常利益	(億円)	71	80	+9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(億円)	53	55	+2
1株当たり四半期純利	益(円)	18.2	18.9	+0.7
為替レート(円	/US\$)	104.7	104.0	▲0.7

注)業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および、 合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束 するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大 きく異なる可能性があります。 **会社概要**(2020年12月末現在) 商号 株式会社SUMCO 本計 **T105-8634** 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 Tel: 03-5444-0808 https://www.sumcosi.com/ 設立年月日 1999年7月30日 資本金 138.718百万円 従業員数 連結8,199名 単体4,011名 IRお問い合せ先 広報·IR室: 03-5444-3915

取締役(2020年12月末現在)								
代表取締役	会長兼CEO	橋	本	眞	幸			
代表取締役	副会長	瀧	井	道	治			
代表取締役	社長兼COO	降	屋		久			
代表取締役	副社長	平	本	_	男			
取締役		加	藤	茜	愛	*		
取締役(常勤監査等委員)		吉	Ш		博			
取締役(常勤監査等委員)		藤	井	淳	郎			
取締役(監査等委員)		\blacksquare	中		等	*		
取締役(監査等委員)		Ξ	冨	正	博	*		
取締役(監査等委員)		太	\blacksquare	信-	郎	*		
取締役(監査等委員)		不	破	章	雄	*		

* 社外取締役(独立役員)

株式情報

株式情報(2020年12月末現在)	
発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式総数	291,181,239株
総株主数	72,168名

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月開催

基準日 定時株主総会議決権行使株主確定日

配当金支払株主確定日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

单元株式数 100株

公告の方法 電子公告とし、当社のホームページ

(https://www.sumcosi.com/) に掲載いたします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって 電子公告による公告ができない場合は、日本経済 新聞に掲載して公告いたします。

上場取引所 東京証券取引所 市場第一部(証券コード:3436)

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウェーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ https://www.sumcosi.com/

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

- ・証券会社に□座を開設されている株主さまは、住所変更等のお手続きおよびご照会は、□座のある証券会社にてお願いいたします。
- ・証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記電話照会先までご連絡ください。

■ 単元未満株式の買取請求について

単元(100株)未満株式の買取請求につきましては、株主さま口座のある証券会社にお申し出ください。

(証券会社に□座がないため特別□座を開設されました株主さまは、特別 □座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。)

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	Tel : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

SUMCO CORPORATION

For All Innovation

半導体の進化が世の中を変える
時代を変え、風景を変え、あなたと私のこれからを変える
次の100年、半導体でどう変わるだろうか
シリコンウェーハは半導体テクノロジーの根源
半導体の進化が未来を創る
SUMCO

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel:03-5444-0808

https://www.sumcosi.com/

見通しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点で当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定(当社の主観的判断に基づくものを含みます。) に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。





環境保護のために、 植物油インキを 使用しております。



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント を採用しています。